



# わだち

公益社団法人  
福島県トラック協会 広報誌

2019年

4

vol.459



## 03 お知らせ 福島県トラック協会の 新イメージキャラクターが完成

### 14 全ト協

- \* 2019年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内

### 02 県ト協

- \* 交通遺児基金へ寄付
- \* 平成30年度第6回理事会を開催
- \* 2019年度各種助成事業一覧

### 06 適正化

- \* 新標準貨物自動車運送約款改正の対応について
- \* 働き方改革実現に向けたアクションプラン周知セミナーを開催
- \* 原価意識強化のためのセミナーを開催

### 08 青年部会

- \* 青年部会が全体研修会を開催

### 08 お知らせ

- \* 平成30年度第2回運行管理者試験が実施される
- \* 事業報告書、事業実績報告書について

### 11 女性部会

- \* 女性部会が役員会を開催

### 12 支部

- \* 会津支部が親睦ボウリング大会を開催
- \* 県北支部が安全大会を開催
- \* 県北支部が交通遺児激励金を寄付

### 11 トピックス

- \* 福島県トラック協会といわきトラック事業協同組合が記念講演会を開催

### 13 陸災防

- \* 平成30年度 安全衛生レベルアップ支援事業

# 県ト協 交通遺児基金へ寄付

福島県トラック協会は福島県交通遺児奨学基金協会（理事長 内堀 雅雄 知事）へ交通遺児の健全育成ために30万円を寄付した。

贈呈式は3月27日(水)に福島県庁で行われ、寄付金が右近 八郎 会長から大島 幸一 福島県生活環境部長に贈られた。これを受けて大島生活環境部長より感謝状が贈呈された。今回で寄付は通算20回目となり累計350万円となった。



【大島生活環境部長、右近会長】

## CONTENTS

全ト協	2019年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内	14
県ト協	交通遺児基金へ寄付	2
	平成30年度第6回理事会を開催	4
	人事異動	5
	2019年度各種助成事業一覧	7
	会員だより	9
	4月の行事予定	16
適正化	新標準貨物自動車運送約款改正の対応について	6
	働き方改革実現に向けたアクションプラン周知セミナーを開催	10
	原価意識強化のためのセミナーを開催	10
支部	会津支部が親睦ボウリング大会を開催	12
	県北支部が安全大会を開催	12
	県北支部が交通遺児激励金を寄付	12
青年部会	青年部会が全体研修会を開催	8
女性部会	女性部会が役員会を開催	11
協同組合	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報	16
陸災防	平成30年度 安全衛生レベルアップ支援事業	13
	技能講習等実施予定	13
お知らせ	福島県トラック協会の新イメージキャラクターが完成	3
	平成30年度第2回運行管理者試験が実施される	8
	事業報告書、事業実績報告書について	9
	交通事故統計	16
トピックス	自動車安全運転センターが会員事業所を表彰	3
	福島県トラック協会といわきトラック事業協同組合が記念講演会を開催	11

# お知らせ 福島県トラック協会の新イメージキャラクターが完成しました!

以前より使用していた「ふくトラくん」をリニューアルし、新イメージキャラクターが完成しましたのでご紹介いたします。

新「ふくトラくん」は4月より使用を開始し、トラック業界内外に向けた様々なイベントや場面で活躍します!!

## 新「ふくトラくん」プロフィール

名前	ふくトラくん
出身地	福島県
誕生日	10月9日(トラックの日)
職業	トラックドライバー
性格	やさしい まじめ のんびりや (ただし、仕事の際は俊敏)
特技	安全運転
趣味	トラックの点検・整備
夢	みんなの幸せ 永遠の無事故・無違反
好きな食べ物	いか人参・桃・肉
特徴 (チャームポイント)	「商売繁盛」「幸福」を招く左手 背中の柄「ふくトラ」 ハートの込めった荷物を大切に抱えている 動体視力が異常に優れている



# トピックス 自動車安全運転センターが会員事業所を表彰

自動車安全運転センター福島県事務所は優秀安全運転者事業所に対する表彰で、県ト協会員22事業所を表彰した。プラチナ賞と金賞は警察本部長・安全運転センター理事長連名表彰、銀賞と銅賞は警察本部交通部長・安全運転センター事務所長連名表彰となる。

受賞事業所は下表のとおり。

	事業所名	
プラチナ賞 (2事業所)	大竹運送(株)	ヤマト運輸(株)喜多方支店
金賞 (5事業所)	丸浜運輸(株)	ヤマト運輸(株)猪苗代支店
	東邦キャリア(株)	(株)海老屋運送
	(株)タケダ	
銀賞 (7事業所)	ヤマト運輸(株)福島北支店	合資会社フクコー運輸
	ヤマト運輸(株)福島法人営業支店	(有)小瀧運送店
	ヤマト運輸(株)福島ベース店	(有)サエキ輸送
	常磐港運(株)小名浜営業所	
銅賞 (8事業所)	磐栄運送(株)	(株)森藤運輸
	ヤマト運輸(株)郡山主管支店	川合運輸(株)郡山南営業所
	ヤマト運輸(株)郡山インター支店	(有)森田商事
	ヤマト運輸(株)会津坂下支店	日和田運送(株)

## 県ト協 平成30年度第6回理事会を開催

福島県トラック協会 平成30年度第6回理事会が3月25日(月)に郡山市「県中研修センター」において、理事25名、監事4名が出席し開催された。

### ○報告事項

- 1 「全ト協表彰規程による表彰」受賞者について
- 2 平成30年度運輸事業振興助成交付金特別会計変更予算（第1号）について
- 3 商法の改正に伴う標準貨物自動車運送約款の改正について
- 4 健康経営優良法人2019認定について

### ○議 題

- 1号議案 2019年度公益法人定期提出書類事業計画書等（案）について
  - 2号議案 2019年度各種助成事業一覧（案）について
  - 3号議案 2019年度定時総会の開催について
  - 4号議案 2019年度優良従業員表彰について
  - 5号議案 入会会員及び退会会員について
- その他 ①今後の行事予定について

### 【報告事項】

- 報告事項の1 「全ト協表彰規程による表彰」受賞者について、平成31年3月7日開催の全ト協「第179回理事会」において、全ト協表彰規程による表彰（感謝状受賞者2名、表彰受賞者18名）正しい運転・明るい輸送運動表彰受賞者（従業員表彰者1名、事業所・団体受賞1事業所）が決定したことを報告した。  
※表彰式は2019年度福島県トラック協会定時総会にて実施。
- 報告事項の2 平成30年度運輸事業振興助成交付金特別会計変更予算（第1号）について、平成30年度の収入及び支出等に関する変更予算を、東北運輸局、福島県に対し提出し、承認されたことを報告した。
- 報告事項の3 商法の改正に伴う標準貨物自動車運送約款の改正について、4月1日の商法改正による標準貨物自動車運送約款の改正に伴う対応について報告した。  
※今後の対応については6ページ参照。
- 報告事項の4 健康経営優良法人2019認定について、県ト協として中小企業法人部門に昨年11月22日に申請、本年2月21日に認定されたことを報告した。

## 【議 題】

- 1号議案 2019年度公益法人定期提出書類事業計画書等（案）について  
公益社団法人法に基づき、福島県への定期提出書類について提案し可決された。
- 2号議案 2019年度各種助成事業一覧（案）について  
2019年度は新たに「睡眠時無呼吸症候群精密検査（PSG）」助成を追加し、各種助成事業の適用範囲拡大等や助成事業の予算増・減額額について提案し可決された。  
※2019年度各種助成事業一覧については15ページ参照。
- 3号議案 2019年度定時総会の開催について  
2019年度定時総会を2019年6月11日(火)、西白河郡西郷村「グランドエクシブ那須白河」での開催及び議事内容等について提案し可決された。
- 4号議案 2019年度優良従業員表彰について  
2019年度 県ト協会優良従業員表彰について、各支部より推薦のあった98名について表彰受賞を提案し可決された。  
※表彰式は2019年度福島県トラック協会定時総会にて実施。
- 5号議案 入会会員及び退会会員について  
11社の入会、6社の退会が可決された。（承認後会員数1,244（賛助会員281含む））
- その他 ①今後の行事予定について  
県ト協本部及び各支部における予定を説明した。

## 県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。

発令 3月31日付

退職	氏名
退職(業務部部长)	ヨシダ タカシ 吉田 隆



発令 4月1日付

新規採用	氏名	新規採用	氏名
業務部部长	トクナガ カツオ 徳永 勝男	業務部係員	エンドウ マサキ 遠藤 正樹
役職(旧所属・役職)	氏名		
業務部課長(総務部課長)	サガワ シュウイチ 佐川 修一		

**適正化**

会員事業所の皆様へ

**新標準貨物自動車運送約款改正の対応について**

標記の件については平成29年11月4日付で「運賃と料金」を分ける等の改正がなされたところですが、平成30年12月に成立した貨物自動車運送事業法の一部改正により、「運送約款基準の明確化」が示され「運賃と料金」を区別しない運送約款（旧約款）は原則認められなくなりました。

加えて今回、「商法及び国際海上物品運送法」の一部改正が施行されたことから新たな標準貨物自動車運送約款が平成31年3月8日付で告示され同年4月1日から施行されることとなりました。

**今改正では①～③の対応が必要となります。（会員事業者）**

- ①新約款(H29.11.4改正)を使用している事業者⇒新しい約款の掲示が必要となります。（張替えを行う。手続きは不要）
- ②旧約款または独自約款の認可を受けた事業者⇒料金の変更届出を行い新しい約款の掲示が必要になります。
- ③未対応事業者⇒料金の変更届出を行い新しい約款の掲示が必要になります。

**県トラック協会に対応する内容として**

1. 県トラック協会のHP、広報誌等で周知を図ります。
2. 新約款を購入し配布します。配布は本部から郵送等で送付致します。
3. 旧約款の認可を受けた事業者並びに未対応事業者へは郵送等で新しい約款に移行していただくよう運輸支局と連携して個別に案内します。
4. 巡回指導時に新しい約款についての確認を行います。（4月以降の巡回指導から）



問合せ先

県トラック協会適正化事業部

tel 024-558-7755（ガイダンス2）

# 県ト協 2019年度各種助成事業一覧

※4月1日より助成開始

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額等	2019予算額 (千円)	備 考
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	13,470	
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1事業者50人まで	3,740	予算増額2,500→3,740
	3 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	500	新規
	4 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1事業者 15名まで	2,000	1事業者の上限人数引上げ(10→15)
	5 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 GMマーク取得事業所 全額 その他 7割	1事業者 10名まで	2,000	1事業者の上限人数引上げ(5→10)
	6 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1事業者 15台上限	21,000	予算減額24,000→21,000
	7 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円(20,000円) 標準型 20,000円(20,000円) 簡易型 10,000円(10,000円) ※( )書きの金額は、国の補助金を受けた場合	1事業者 15台上限	20,000	予算減額26,000→20,000
	8 安全装置	後方・側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	37,000円/台 ※側方視野確認支援装置は車両総重量7.5トン以上	1事業者 15台上限	13,000	
	9 フォークリフト技能講習受講料	防災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講料	4,000円/人		600	
	10 衝突被害軽減ブレーキ装着車導入	中型車を対象に、中小企業者が衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	取得価格の1/2 100,000円/台上限	1事業者 3台上限	3,000	
	11 準中型・中型・大型免許助成	従業員に準中型、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許 75,000円/人上限 大型免許(二種は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限	1事業者50万円上限	24,000	助成額引上げ 大型10万円→15万円 中型5万円→7万5千円 予算増額 21,000→24,000
	12 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	準高台数上限	12,000	1人助成単価引上げ 1,000→1,500円 予算増額 8,000→12,000
	13 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	1事業者 150人上限	7,000	1事業者上限引上げ 100人→150人 予算増額 6,000→7,000
	14 血圧計	中小企業事業者が全自動血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限70,000円)	1事業者 2台	2,700	1事業者上限額・台数引上げ 50,000→70,000円 1台→2台 予算増額1,000→2,700
	15 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、トイレ等の増設経費に対する助成	工事経費の1/2(上限300,000円)	1事業者 1施設	3,000	
交通安全対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三妻) 60,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デゾン、日産) 50,000円/基 車載バッテリー式冷蔵庫 60,000円/基 ジェルマット 5,000円/枚	電気式の毛布・マット・ベッド30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー(車載)バッテリー式冷蔵庫 3基 ジェルマット 30枚	11,000	
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	21,000	助成額引上げ 小型15,000→20,000円 中型30,000→40,000円 大型50,000→60,000円 予算増額 18,000→21,000
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	21,000	1本助成単価の引上げ 1,800→2,000円
研修・認定事業費	19 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		190	
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	1,500	
基金運営事業費	21 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(対新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期 〃 〃 0.3% 環境対応車・省エネ関連機器 〃 〃 0.3%	近代化基金 1会員3千5百円 ポスト新長期 1会員7千円 低公害車等 1会員3千5百円	8,172	予算減額10,458→8,172
	22 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	償借保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を助成	上限 年度内 100,000円	1,498	予算減額2,000→1,498
	23 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		6,600	予算減額19,000→6,600
	24 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	償借保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を助成	上限 年度内 200,000円	4,000	予算減額5,000→4,000
25 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,500円/人・年 基礎講習 5,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は準高台数の10%を上限(増数引上げ)	3,500	助成額引上げ 一般講習1,000→1,500円 基礎講習4,000→5,000円 予算増額 2,600→3,500	
計					204,468	

## お知らせ

## 平成30年度第2回運行管理者試験が実施される

平成30年度第2回運行管理者試験は3月3日(日)に郡山市「日本大学工学部」において実施され、603名が受験した。

福島県における前回(8月)の合格率は28.2%(全国:28.7%)で全国29位の成績であった。

## ○試験結果について

## ①合格発表

合格発表は4月2日(火)(予定)で、同日の午前9時に(公財)運行管理者試験センターのホームページに合格者受験番号が掲載されます。

## ②合否結果

「試験結果通知書」が受験者本人宛に郵送されます。

## ○合格者の運行管理者資格者証の交付申請について

申請書類及び申請方法については、「試験結果通知書」に同封されております。

## ①交付申請期間

運輸支局等に合格発表日から3ヵ月以内に運行管理者資格者証の交付申請を行ってください。

## ②申請期限の厳守

3ヵ月を過ぎると手続きが出来なくなるので、早めに申請を行ってください。

## ③申請窓口(資格者証交付申請地を福島県で希望した場合)について

福島県では交付申請書の窓口を一本化し、福島県トラック協会では申請書をお預りしかねますのでご注意ください。

申請書は「東北運輸局 福島運輸支局 整備・保安部門」へ提出してください。

〒960-8165 福島市吉倉字吉田54番地  
問合せ先：024-546-0345



## 青年部会

## 青年部会が全体研修会を開催

(公社)福島県トラック協会青年部会(小野田 弘明 部会長)は3月9日(土)に郡山市「郡山ビューホテル」において、部会員39名が参加し平成30年度全体研修会を開催した。

今回の研修会は、国土交通省 自動車局 貨物課より橋本 恵一郎氏を講師としてお招きし、「トラック業界を取り巻く当面する諸課題等について」をテーマに講演会を実施した。講演では近年最大の関心事である、トラック運送業界における働き方改革及び取引環境と長時間労働改善に向けた取組について、事例を挙げながら解決の糸口となるヒントを分かりやすく説明いただいた。また、講演後に実施された情報交換会では、橋本氏のほか、県ト協右近会長、荒川専務理事も同席し、講話内容への質問及び国土交通行政の今後の方向性、新年度におけるトラック協会の事業内容等について活発な意見交換を実施し情報の共有を図った。



【講師の橋本 恵一郎 氏】



# お知らせ 事業報告書、事業実績報告書について

貨物自動車運送事業報告規則により、毎事業年度における営業活動の状況を報告する「事業報告書」と前年4月1日から3月31日までの1年間の輸送実績を報告する「事業実績報告書」の提出が必要となっております。

## 事業報告及び事業実績報告書の注意点

<b>事業報告書作成 3部</b> (1部は事業者控え) <b>協会提出部数 2部</b>	<b>事業実績報告書作成 3部</b> (1部は事業者控え) <b>協会提出部数 2部</b>
★提出期限 決算日より100日以内 (例 3月決算であれば7月10日まで) ※特定事業者の提出は不要です！	★提出期限 7月10日 ★作成時の注意点 <u>決算日にかかわらず平成30年4月1日～平成31年3月31日までの実績を記入。</u> ※全事業者提出

紙媒体での報告書様式送付は現在行っておりません。様式を入手するには、当協会ホームページ(会員専用ページ⇒各種の申請書・帳票)からダウンロード(様式はPDFまたはエクセルデータ)してください。

インターネット環境がない場合は、当協会にご連絡いただければ様式を送付いたします。

**問合せ先 024-558-7755**

## 会員だより

退会会員事業所

支部	店・社名	支部	店・社名	支部	店・社名
県中	(株)良田建材店	会津	大和運送(有)	会津	東山運送(株)

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
6	(株)フルカワ	郵便番号 住 所	960-1428 伊達郡川俣町字五百田16-38	960-1401 伊達郡川俣町飯坂字八反田20-7
8→7	(株)福良梱包	業種変更	一般	特定
14	三愛ロジスティクス(株)福島営業所	事業所名	SBS三愛ロジ東日本(株) 南東北支店福島営業所	三愛ロジスティクス(株)福島営業所
17	東北西部運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	加藤伸昭	田口哲士
28	金彰運送(有)福島営業所	郵便番号 住 所	969-0402 岩瀬郡鏡石町新町154番地	962-0047 須賀川市大字松塚字北山28番1
29→ 県中支部へ	(株)ゼロプレス関東須賀川事業所	事業所名	(株)ゼロプレス関東 郡山カスタマーサービスセンター	(株)ゼロプレス関東須賀川事業所
		代表者 (支店・営業所代表者)	石川章彦	本間信一
		郵便番号 住 所	973-0111 郡山市安積町荒井 2丁目96 マンションドム荒井102	962-0805 須賀川市崩免16-2 レオネクスト木蘭203号室
40	佐川急便(株)東日本支社 南東北支店会津田島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	伊藤 弘	大塚博昭
40	佐川急便(株)東日本支社 南東北支店会津若松営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	伊藤 弘	大塚博昭
40	新潟運輸(株)会津若松支店	代表者 (支店・営業所代表者)	佐藤祐司	鈴木正広
41	ロジライ東北(株)会津事業所	代表者 (支店・営業所代表者)	鈴木哲弘	佐藤文明
45	復興共同運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	板橋栄次	澤 純一
		事業所名	(株)エフケーユー	復興共同運輸(株)
54	(株)角榮	代表者 (支店・営業所代表者)	上妻嘉祥	上妻藤市
56	磐城通運(株)平支店	代表者 (支店・営業所代表者)	中野 学	鈴木英伸

## 適正化 働き方改革実現に向けたアクションプラン周知セミナーを開催

働き方改革実現に向けたアクションプラン周知セミナーは3月4日(月)に郡山市「県中研修センター」において163名が参加し全日本トラック協会、県ト協の共催により開催した。

昨年3月、全日本トラック協会はトラックドライバーの長時間労働の抑制と職業としての魅力向上を目的に「トラック運送業界の働き方改革実現に向けたアクションプラン」を策定し、本アクションプランに基づくトラック運送業者の取組内容を具体的かつ

詳細に説明した解説書を作成した。本セミナーでは本解説書等により、トラック運送事業者が時間外労働の上限規制をはじめとした働き方改革に適切に対応できるように解説した。



### セミナー内容

**講義1** 「働き方改革関連法」及び「改正貨物自動車運送事業法」の概要について  
公益社団法人全日本トラック協会 企画部長 **星野 治彦 氏**

**講義2** 「トラック運送業界の働き方改革実現に向けたアクションプラン」(解説編)  
株式会社日通総合研究所 取締役 **大島 弘明 氏**

**質疑応答**(セミナー後の有給休暇の質問に対する回答について、次のとおり修正させていただきます)

**質問1** 会社側は労働者の希望を聞き希望を踏まえて取得時季を指定しなければいけないのか。

**回答1** 労働者の希望を聞くことについては義務。労働者の希望に沿った取得時期になるよう、尊重するよう努める必要があります。

**質問2** 就業規則へ規定する必要があるのか。

**回答2** 年次有給休暇の時季指定を実施する場合は、時季指定の対象となる労働者の範囲、時季指定の方法を就業規則に記載する必要があります。

計画年休の導入には就業規則による規定と労使協定の締結が必要となります。

## 適正化 原価意識強化のためのセミナーを開催

原価意識強化セミナーは3月15日(金)に郡山市「県中研修センター」において、91名が参加して開催した。

これはトラック運送事業が持続的かつ収益力のある産業として発展していくため、原価を適切に把握することにより、経営収支の改善に取り組むことが求められていることから、原価計算結果を踏まえ、平成29年11月に改正された標準運送約款に対応した交渉事例等を取り入れるなど適正運賃・料金の収受に焦点をあて、講師に日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役 **小坂 真弘 氏**を迎え、原価計算の基礎と活用について説明した。

## トピックス 福島県トラック協会といわきトラック事業協同組合が記念講演会を開催

福島県トラック協会（右近 八郎 会長）といわきトラック事業協同組合（伊藤 浩一 理事長）は、3月3日(日)にいわき市「アリオス 中劇場」において、それぞれ創立70周年、50周年記念事業として講演会を共同開催した。

伊藤 浩一 理事長の主催者代表あいさつ後、来賓として出席いただいた福島運輸支局長 佐々木 雅幸 様、いわき中央警察署長 佐治 誠 様よりそれぞれ祝辞を頂戴した。

当日は業界関係者を含む600名が参加したが、そのうち200名の高校生が会場へ足を運んだ。これは、若年労働者確保の及び業界イメージアップの取組の一貫として、いわき市内の各高校に呼びかけを行い実現したものだ。

講師には、各メディアで引っ張りだこのジャーナリスト 池上 彰 氏を迎え、「世界を動かすエネルギー事情」のテーマで講演。近年の世界情勢を踏まえた、エネルギー事情について、ここだけの裏話なども交え、“誰が聴いてもわかりやすい”池上解説が終始展開され、記念講演会は成功裡に終了した。



【人気ジャーナリスト 池上 彰 氏】

## 女性部会 女性部会が役員会を開催



女性部会（永山 忍 部会長）は3月25日(月)に郡山市「県中研修センター」において、役員5名が出席し、今年度3回目となる役員会を開催した。

役員会では、平成30年度の部会活動報告のほか、方部別に開催した意見交換会の実施状況、「トラックの日」フェスタ2019への取組、2019年度定時総会の日程及び議題について協議決定した。また、今後も役員が主体となり様々な場面において広報活動を展開しながら、新規部会員の獲得及び組織強化を図っていくことを確認した。

## 支部 支部だより

### 会津支部が親睦ボウリング大会を開催

会津支部（菅野 高志 支部長）は、3月9日(土)に会津若松市「ボウル・サンシャイン」において、支部会員事業所より10チーム（38名）が参加してボウリング大会を開催した。

当日は会員相互の親睦と健康増進を図れた有意義な大会となった。



優勝

個人戦

遠藤 拓也 氏（會津通運(株)）

準優勝

個人戦

長谷川 弘二 氏（マルト建設(株)）

団体戦

會津通運(株)チーム

団体戦

会津本郷貨物運送(株)、県ト協混成チーム

県北支部（右近 八郎 支部長）は安全及び社会貢献活動を下記のとおり実施した。

### 県北支部が安全大会を開催

3月2日(土)に福島市「福島研修センター」においてドライバーなど245名が参加し安全大会を開催した。

安全大会では第一部として、優良従業員表彰が行われ勤続10年以上で無事故・無違反の優良従業員46名が表彰された。第2部では交通事故防止コンサルタント 上西 一美 氏を講師として迎え、「ドラレコ映像で見る居眠り運転の原因と対策」と題した講演を実施し、最後には安全宣言を採択し、安全運転及び労災事故防止に向け結束を高めた。

### 県北支部が交通遺児激励金を寄付



【木幡市長と右近支部長】

二本松市・伊達市・福島市に交通遺児激励金をそれぞれ寄付した。これは3月2日(土)に開催した安全大会の出席者から集めた善意に県北支部からの浄財を加えたもの。

二本松市には3月20日(水)に蓬田 隆信 副支部長と阿部 一好 事務局長が二本松市役所を訪問し、三保 恵一 市長へ10万円を、伊達市には3月27日(水)に右近 八郎 支部長と阿部 一好 事務局長が伊達市役所を訪問し、須田 博行 市長へ10万円を、福島市には3月28日(木)右近 八郎 支部長と阿部 一好 事務局長が福島市役所を訪問し、木幡 浩市長へ15万円を手渡した。

# 陸 災 防 平成30年度 安全衛生レベルアップ支援事業



## 取組の総括を行い、決意新たにゼロ災を目指す

陸災防福島県支部は、3月27日(水)、福島研修センターにおいて「安全衛生レベルアップ支援事業」の第3回集合研修会(修了証交付式)を開催し、この半年間の取組成果の総括を行った。

開会冒頭、右近支部長より『今、業界の経営環境は大きく変わる。働き方改革が4月から施行されることになり課題は多い。運送会社にはトラック協会の適正化事業と陸災防のコンプライアンスが重要であり、コンプライアンスの流れに慣れるのではなく、サービス業のマインドセットとして、本来、コンプライアンスは何のためにあるのかを考え、一人一人が意識改革をしなければならない。この度の安全衛生レベルアップ支援事業が有意義なものとして、今後も各社での取組に活かしていただきたい。』と挨拶があった。



【各事業場の安全衛生担当管理者】

五十嵐局長の「安全衛生の管理と実践」と題した講話があり、各社より半年間の取組み総括と決意表明を行い、右近支部長より各社に修了証を交付した。



【リスクアセスメントの演習】

### 【修了証交付事業場】

- 福島陸運(株)(県北) 伊達貨物(株)(県北) (株)北海興業(県中)
- 成田運輸(株)(県南) 磐梯貨物(株)本社営業所(会津)
- (株)東武(相双) 鈴木運輸(株)(いわき)

### 安全衛生の重要性を再認識し 積極的な取組を誓う

鈴木運輸株式会社 安全衛生推進者 鈴木 伸也

当社は、従業員50人以下ではあるが、今回の支援事業を通じ、安全衛生の重要性を改めて再認識できた。安全衛生に関して、支援事業を受ける前は、正直、優先順位が高くなく、KYTトレーニングを実施する、健康診断を受診する、乗務前の点呼を行うといった当たり前のことしか出来ていなかった。しかしながら支援事業参加後は、新たに安全衛生管理規程の制定、安全衛生委員会を設置したことにより、外部講習への参加、安全衛生推進計画に基づいた取り組みが出来るようになった。

今後は、外部講習(はい作業主任者、荷役労災防止担当者教育など)にも積極的に参加し、労働災害および交通災害ゼロを継続していきたい。

成田運輸株式会社 取締役 吉田 敦

安全衛生レベルアップ支援事業の取り組みに参加させていただきまして、集合研修会や個別指導により、安全衛生について理解していくことで、今までとは考え方や、視野が広がったと思います。

この支援事業で学びました安全衛生について積極的に従業員に呼びかけていき、安全でストレスのない明るい職場環境を確立していきたい。

# 陸 災 防 技能講習等実施予定

### 【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講習開催日			
		実		技	
福島②	17(金)	1: 8(水) ~ 10(金)	2: 14(火) ~ 16(木)		
郡山②	28(火)	1: 8(水) ~ 10(金)	2: 14(火) ~ 16(木)	3: 21(火) ~ 23(木)	
いわき②	24(金)	1: 8(水) ~ 10(金)	2: 14(火) ~ 16(木)	3: 21(火) ~ 23(木)	
会津①	31(金)	1: 21(火) ~ 23(木)	2: 28(火) ~ 30(木)		

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.f-rikusai.org/>

陸災防福島県支部

検索

# 全ト協 2019年度ドライバー等安全教育訓練促進助成制度のご案内

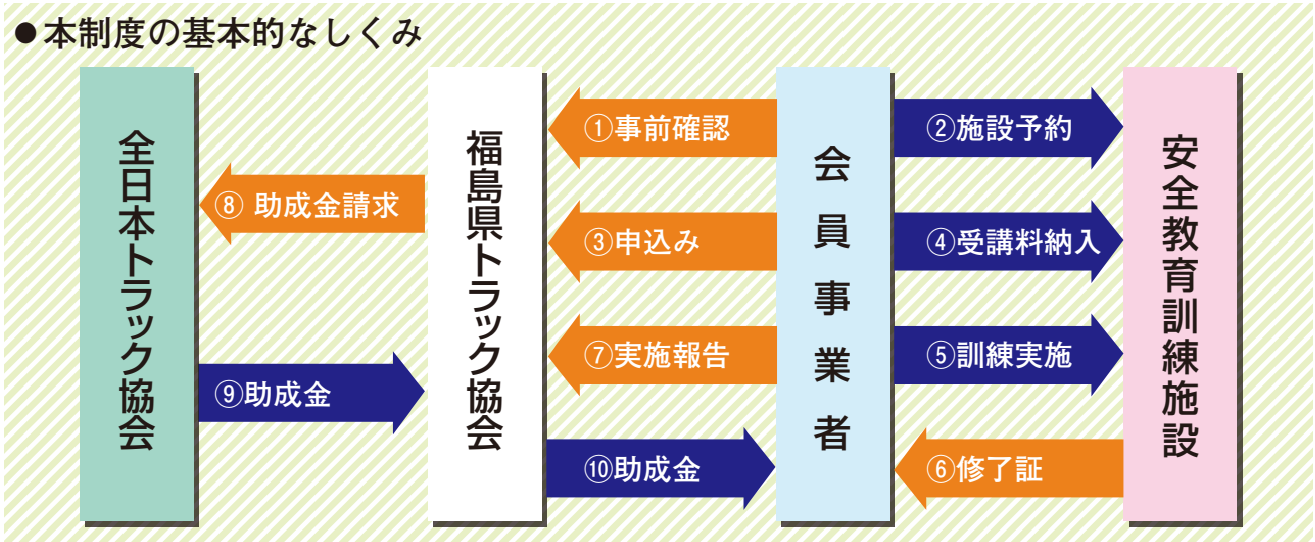
## ●ドライバー等安全教育訓練助成制度とは？

大型トラックの事故が頻発する中、ドライバーの安全意識の高揚や安全運転技能の向上が課題となっており、業界を挙げた従業員教育の充実強化への取組が要請されています。

特に中小事業者を中心として安全教育訓練に要する時間やコストが負担となり、実践的な教育訓練実施の機会が不足しています。

こうした状況を踏まえ、本制度は全ト協の指定する総合的な安全教育訓練施設に、ドライバー等を派遣し訓練を実施しようとするトラック事業者に対して助成を行うものです。

## ●本制度の基本的なしくみ



## ●手続きの流れ

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 福島県トラック協会へ事前確認 | 福島県トラック協会にて、前もって資格、人数などを確認します。                      |
| 2. 教育訓練施設の予約      | 安全教育訓練を実施しようとする施設に対し日程等を確認し、予約します。                  |
| 3. 申込書提出          | 福島県トラック協会に申込書を提出します。(県ト協→FAX→研修施設)                  |
| 4. 受講料の納入         | 安全教育訓練施設に、受講開始日の7日前までに、受講料を納入します。                   |
| 5. 安全教育訓練実施       | 施設にて安全教育訓練を実施します。                                   |
| 6. 安全教育訓練実施報告書    | 参加報告書、修了証及び領収書の写しなどを添えて、7日以内に福島県トラック協会に実施報告書を提出します。 |
| 7. 助成金支給          | 助成金が支給されます。(支給時期は四半期ごと)                             |

◎実施期間は、2019年4月1日から2020年3月31日までです。

※上記期間内であっても、予算に達した場合は、その時点で助成は終了いたします。

## ★お問い合わせ先

制度の詳しい内容などについては福島県トラック協会(担当:業務部 ☎024-558-7755)へ、また、各施設もしくはカリキュラムの内容等については、各施設にそれぞれお問い合わせをしてください。

●助成対象研修施設

助成対象となる研修施設は次のとおりです。

※一部のトラック協会で、対象研修施設の限定措置を行っている場合があります。

施設区分	No.	所在地	研修施設	連絡先
特定研修施設	(1)	愛知県	<a href="#">一般社団法人 愛知県トラック協会</a> <a href="#">中部トラック総合研修センター</a>	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21-127 電話0561-36-1010 FAX 0561-36-1210 (名鉄線三好ヶ丘駅より徒歩約20分)
	(2)	埼玉県	<a href="#">一般社団法人 埼玉県トラック協会</a> <a href="#">埼玉県トラック総合教育センター</a>	埼玉県深谷市黒田2091-1 電話 048-584-0055 FAX 048-584-0090 (秩父鉄道永田駅より徒歩約25分)
指定研修施設 (研修所)	(3)	茨城県	<a href="#">自動車安全運転センター</a> <a href="#">安全運転中央研修所</a>	茨城県ひたちなか市新光町605番地16 電話 029-265-9560 FAX 029-265-9552 (JR常磐線勝田駅よりバスで約20分)
	(4)	滋賀県	<a href="#">クレフィール湖東交通安全研修所</a>	滋賀県東近江市平柳町22-3 電話 0749-45-3872 FAX 0749-45-3877 (JR東海道線能登川駅より送迎バスで約30分)
指定研修施設 (教習所)	(5)	北海道	総合交通教育センター ドライビングアカデミー北海道 ①東地区会場 ②西地区会場	①東地区会場 (JR根室本線釧路駅よりバスで約25分) 北海道釧路市芦野5-12-1 電話 0154-37-1196 FAX 0154-37-1178 ②西地区会場 (JR室蘭本線苫小牧駅よりバスで約30分) 苫小牧市拓勇東町8-6-68 電話 0144-57-8410 FAX 0144-57-8410
	(6)	青森県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー弘前	青森県弘前市和泉一丁目3-1 電話 0172-28-2727 FAX 0172-28-3382 (JR弘前駅より送迎バスで約8分)
	(7)	宮城県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー宮城 ①東地区会場 ②西地区会場	①石巻中部自動車学校 (JR石巻あゆみ野駅より徒歩約15分) 宮城県石巻市門脇字浦屋敷124番1号 電話0225-94-1285 FAX 0225-94-1288 ②富谷自動車学校 宮城県富谷市三ノ関膳部沢上11番3号 電話 022-358-8787 FAX 022-358-8777 (市営地下鉄南北線泉中央駅より送迎バスで約15分)
	(8)	群馬県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーぐんま ①前橋自動車教習所 ②かぶら自動車教習所	①前橋自動車教習所 (JR前橋駅北口より送迎バスで約20分) 群馬県前橋市関根町二丁目1番地18 電話 027-233-1155 FAX 027-233-2004 ②かぶら自動車教習所 (JR高崎駅より送迎バスで約20分) 群馬県藤岡市立石1563 電話 0274-42-0462 FAX 0274-42-8280
	(9)	千葉県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー千葉 東洋自動車教習所	千葉県旭市鎌数5146 電話0479-64-0100 FAX0479-64-0102 (JR総武本線 千潟駅より徒歩12分)
	(10)	神奈川県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー小田原	神奈川県小田原市蓮正寺540-2 電話0465-38-1215 FAX0465-37-4603 (小田急線 螢田駅より徒歩5分)
	(11)	岐阜県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー大原	岐阜県多治見市幸町7丁目29-1 電話 0572-27-2356 FAX 0572-27-2967 (JR多治見駅北口より送迎バスで約20分)
	(12)	兵庫県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーABOSHI	兵庫県姫路市網干区高田108番地 電話079-274-1839 FAX079-274-2729 (JR網干駅より徒歩5分)
	(13)	広島県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーテクノ	広島県安芸郡熊野町5640-1 電話 082-854-4000 FAX 082-854-9466 (JR矢野駅より送迎バス約30分)
	(14)	愛媛県	総合交通教育センター ドライビングアカデミー石原	愛媛県松山市空港通4丁目8-12 電話089-972-1010 FAX089-972-1039 (JR松山駅より送迎バス6分)
	(15)	福岡県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーONGA	福岡県遠賀郡遠賀町大字今古賀81-5 電話 093-293-2359 FAX 093-293-2427 (JR鹿児島本線遠賀川駅より徒歩約7分)
	(16)	宮崎県	総合交通教育センター ドライビングアカデミーMIYUKI	宮崎県都城市都北町7333番地 電話0986-38-1001 FAX0986-38-0908 (JR都城駅より車で10分)

## 4月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
22日(月)	第1回「トラックの日」フェスタ実行委員会	郡山市「県中研修センター」
26日(金)	県中支部定時総会	郡山市「郡山ビューホテルアネックス」

## 協同組合 平成30年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」荷物（求車）・車両（求荷）の情報登録・成約件数 ※上記表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期合計	増減
荷物(求車)登録件数	398件	273件	268件	409件	427件	462件	525件	514件	543件	363件	341件		4,523件	4,334件	+ 189件
荷物(求車)成約件数	147件	102件	98件	117件	136件	142件	161件	159件	143件	135件	152件		1,492件	1,107件	+ 385件
成約率	36.9%	37.4%	36.6%	28.6%	31.9%	30.7%	30.7%	30.9%	26.3%	37.2%	44.6%		33.0%	25.5%	7.4ポイント
車両(求荷)登録件数	241件	243件	271件	294件	281件	260件	320件	334件	273件	291件	325件		3,133件	2,686件	+ 447件
車両(求荷)成約件数	156件	173件	202件	241件	241件	208件	222件	285件	237件	254件	288件		2,507件	1,989件	+ 518件
成約率	64.7%	71.2%	74.5%	82.0%	85.8%	80.0%	69.4%	85.3%	86.8%	87.3%	88.6%		80.0%	74.1%	6.0ポイント

## お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2018年に比べ2019年では発生件数(+1)、死者数(増減なし)、傷者数(+1)となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールへの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

### 第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況 (2月末)

		1月	2月	合計	2018年 に比べて の増減数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間合計
2018年 概数	発生件数	5	9	14			11	5	8	3	8	11	7	10	4	8
	死者数												1		1	2
	傷者数	5	11	16		17	6	10	3	10	18	7	15	4	11	117
2019年 概数	発生件数	11	4	15	+1											
	死者数				0											
	傷者数	12	5	17	+1											



トラック広報 わだち4月号 (通巻459号)

2019年4月1日発行 (毎月1回1日)  
 編集発行 公益社団法人福島県トラック協会  
 〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
 TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
 H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

